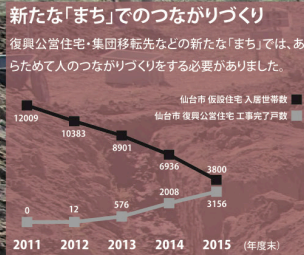


つながりを育む「遊び」を通じた被災地におけるコミュニティ再生の試み

認定特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク

「住まいの復興」が進む中で

被災した方々の仮設住宅からの転居が進み、「住まいの復興」が進む中で、遊び場づくりを軸にコミュニティ再生に向けたつながりを育む形での地域の課題に取り組みました。



新たな「まち」での交流の場づくり

様々な地域から住民が集まる新たな「まち」で、ゆるやかにつながれる屋外の遊び場の強みを活かして、子どもから大人まで多様な交流が生まれる場づくりに取り組みました。主に大人を対象にした交流サロン「緑側倶楽部」や、町内会施設を利用した幼児親子対象の遊び場なども実施することで、交流の幅が大きく広がっています。

仮設住宅に残される人に寄り添う

仮設住宅では生活再建の見通しが立たない人が残される場合が多く、そのフォローが不可欠になりました。

仮設住宅での交流の場づくり

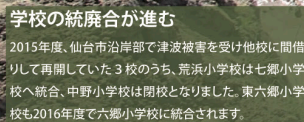
仮設住宅でも多世代が交流できる場としての遊び場づくりに取り組みました。「緑側倶楽部」も開催し、ものづくり・お茶っこのみを通じた大人の心のケアや、遊び場に来る子どもと大人のつながりづくりに取り組みました。

現地再建地域の元気を取り戻す

津波被害を受けつつも現地再建が可能なやや内陸の地域には徐々に住民が戻ってきました。ただ、震災前からは減速しておりか地域に元気を取り戻すかが課題となっています。

田園地域の魅力に光を当てる

岩沼市の現地再建地域では、自然豊かな環境を活かした遊び場を定期的に開催しました。都市部から遊びに来る親子も多く、交流を促進していると共に地域の魅力を再認識する機会にもなっています。また2015年度は東六郷小現地で遊び場も始めました。



遊び場でつながる子ども

中野小では、震災の影響で離れ離れの場所への転居を余儀なくされた子どもたちが、放課後スクールバスの発車時間まで一緒に遊べる場づくりを、閉校直前まで継続しました。統合される荒浜小・東六郷小については、移転先の学区での遊び場が子どもと大人の顔の見え関係づくりにつながっています。東六郷小は、授業への協力を行いました。

仙台市若林区 七郷地域での取り組み

- <遊び場>
 - 伊在二丁目公園 あそび場 (伊在二丁目公園 毎月水曜)
 - ままandばはかほ (伊在二丁目公園 毎月1・3水曜)
 - 七郷あそび場 (市立4号公園 毎週土曜)
 - 荒井東 緑側倶楽部 (市立東六郷小学校 毎月2・4日)
- <幼児親子対象の遊び場>
 - 荒井公会堂あそび (ちびひろ) (荒井公会堂 毎週水曜)
 - 下荒井公会堂あそび (ちびひろ) (下荒井公会堂 毎月2・4日)
- <交流サロン>
 - 荒井東 緑側倶楽部 (市立東六郷小学校 毎月4日)

- 復興公営住宅・集団移転先のある地域での活動
- 仮設住宅のある地域での活動
- 現地再建地域にかかわる活動
- 統廃合対象の小学校にかかわる活動

仙台市若林区 六郷地域での取り組み

- <遊び場>
 - ニッパリアあそび場 (若林日辺グラウンド 仮設仮設住宅 毎月水曜)
 - 六郷あそび場 (仙台市立六郷小学校 毎週日曜)
 - 六郷あそび場 (仙台市立六郷小学校 毎月2日曜)
 - 東六郷小であそぼう (仙台市立東六郷小学校 3/20-27)
- <交流サロン>
 - えっちゃん&おかの緑側倶楽部 (若林日辺グラウンド 仮設仮設住宅 毎月1回)
 - 大内さんちの居久根プロジェクト (大内さんち 毎月 5/19-21・28-29・11/13・3/10)

仙台市のその他の地域での取り組み

- <遊び場>
 - 若林小あそび場 (若林区若林小学校 毎月1日曜)
 - 若林西側倶楽部 (若林区若林西側公民館 毎月11/16・21/16)
 - 初町五丁目あそび場 (若林区初町五丁目公民館 毎月土曜)
 - 豊後あそび場 (若林区豊後センター 若林区若林区交流センター 毎月1回)
 - 中野小あそび場 (若林区中野小学校 毎月1日曜)
 - のりばで遊んでみよう (青葉区あそび場 毎月11/15・12/19・1/10・3/20)
- <交流サロン>
 - 初町五丁目緑側倶楽部 (若林区初町五丁目公民館 毎月6/17)

岩沼市での取り組み

- <遊び場>
 - 里の杜あそび場 (里の杜中央公園 毎月2・4水曜 毎月4日曜)
 - 楽農村であそぼう (楽農村 毎月1日曜)
 - 玉浦西あそび場 (玉浦西公民館 毎月11/4)
- <交流サロン>
 - 里の杜あそび場 緑側倶楽部 (里の杜中央公園 毎月1回) (2015/6/14開催)
 - 楽農村とあそぼう (楽農村 毎月2・4水曜)



大人と遊び場を交流サロンでつなぐ 緑側倶楽部

仮設住宅や復興公営住宅で交流サロンを開催することで、被災者同士の交流の促進や、被災者と遊び場のつながりの創出を狙った活動「ニッパリアあそび場」を開催している若林日辺グラウンド仮設住宅の住民を対象とした「えっちゃん&おかの緑側倶楽部」から始まりました。臨床心理学やカウンセリングの専門家も連携しながら、他の仮設住宅や復興公営住宅でも遊び場づくりと組み合わせることで、成果を上げています。岩沼市の集団移転先である玉浦西地区や現地再建地域の市民農園「産直朝日+楽農村」での交流サロン「グリーンリーフ」にもノウハウが生かされ、近隣で展開する遊び場づくりとの相乗効果も上げています。

保護者とともに作る遊び場 住民主体の遊び場づくり

子どもの保護者が遊び場の運営に関わるようになってきています。乳幼児親子が気軽に遊べる場をつくらうと「荒井公会堂あそび場」ちびひろ」を始めたのがきっかけでした。いつ来ていつ帰るかも、何をして遊ぶかも自由な、のびのびできる場です。のびのびと仙台とも連携しながら回を重ねるうち、このような気軽さ・自由さが保護者の活動への参画を生み出し、保護者企画の乳幼児親子向け交流サロン「ままandばはかほ」を誕生させ、2016年4月からは「ちびひろ」そのものも保護者主体の活動に生まれ変わりました。ここから得た経験をもとに「六郷あそび場のまったりサロン」や「下荒井公会堂あそび場」や、「あいあそび場」を開催。「あいあそび場」を開催していた岩沼市では、2015年4月から保護者主催の遊び場「ちびぞらクラブ」が誕生しました。

地域の方々とともにあゆむために 地域への協力

私たちは遊び場を開催している地域の様々な取り組みに協力してきました。その内容は、町内会の夏祭、おやじの会の活動、市民センターや児童館の事業など、多岐にわたります。仙台市若林区で東日本大震災の被災者支援を官民協働で行った組織「六郷・七郷コミネット」にも参画しました。仙台市宮城野区田子地区や岩沼市玉浦西地区の集団移転先における住民の交流イベント開催にも協力しました。遊び場を開催している地域が学区となっている小学校では、授業にも協力しています。総合的な学習の時間の一環として海岸公園冒険広場の見学を受け入れ、防災教育の一環として授業時間内に遊び場を開催するなど、様々な形で貢献しました。

地域の方々とともに遊び場の意味を考える 講座・ワークショップ

遊び場を開催する地域の方々とともに子どもにとっての遊び場の意味を考える時間をもてばと思い、私たちは様々な講座やワークショップを開催してきました。子どもの保護者を対象とした「子育て自分育て講座」や、より広い地域の方を対象とした「地域子育て講座」を複数の地域で継続して開催してきたほか、岩沼市では住民主体の遊び場づくりに興味のある方々を対象とした「ボランティア養成講座」も開催しました。この講座に参加してくださった方と協働して、市民農園での遊び場「楽農村であそぼう」を開始することもできました。東京都で活動する「遊びとまち研究会」と協働して、六郷地域と七郷地域双方の方々とともに「三世代遊び場マップ」を作成するワークショップも開催しました。

